



# エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取組み～

環境大臣 伊藤 信太郎 殿

発行日 2024年6月18日

リマテックホールディングス株式会社

代表取締役社長 田中 靖訓

私たちリマテック＝レックスグループは、資源循環・環境領域での事業活動において、環境との調和を図りながら環境分野における社会的課題の解決と持続可能な社会の構築に貢献するため、以下の取組みを進めてまいります。

## 1. 循環型社会の実現に向けた取組みを積極的に推進します

- 再生燃料「RF」製造における排出先から受入れた産業廃棄物のリサイクル率97%以上を目指します。
- 再資源化技術の高度化・効率化についての研究、製品品質の向上に向けて取り組みます。また、全国各地にある未利用資源を活用した新たなリサイクルスキームの構築や未利用資源の製品化/付加価値化に向け、パートナー企業との協働により循環型社会の促進に貢献します。
- グループが保有する知見・技術の向上と事業領域を拡大させることで、気候変動や資源不足、生物多様性の減少、各地が抱える特有の問題など複雑・複合的な課題解決に取り組めます。

## 2. 脱炭素社会の実現に向けた取組みを積極的に推進します

- 化石燃料代替製品の普及と安定的な生産のため、原料となる廃棄物の新規獲得等を強化し、動脈企業で使用される化石燃料使用量およびCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献します。
- 「SBT認証」や「再エネ100宣言 RE Action」、「GXリーグ参画」を継続し、CO<sub>2</sub>排出量（Scope1・2）を2030年度までに2013年度比58%削減（2018年度比30%削減）を目指し、2050年度実質ゼロに向けてサプライチェーンとの協働により、バリューチェーン全体での環境負荷低減を図ります。
- 自社の排出量（Scope1・2）に加えて、Scope3を含めたサプライチェーン全体でCO<sub>2</sub>排出量や製品・サービスによるCO<sub>2</sub>削減貢献度を把握し、情報開示と削減に取り組めます。
- グループ全体における使用電力を2050年度までに再エネ率100%を目指します。
- 営業車両や収集運搬車両は、環境に配慮した車両を積極的に導入し、工場施設では省エネルギー設備への入替を行うなど、CO<sub>2</sub>排出量の削減対策を積極的に推進します。
- オフィス・工場において、電子化、ペーパーレス化を推進し、DX化を基盤とした取り組みを推進します。  
また、従業員一人ひとりが5R（リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ・リペア）の取り組みを重視します。
- 現在保有している太陽光発電設備において、メンテナンス実施や省エネ設備導入計画を策定するなど無駄のない効率的な発電と計画の推進達成に向けた設備使用電力および発電量の把握など徹底的な管理を実施し脱炭素社会への貢献を目指します。

## 3. 地球環境保全に向けた取組みを積極的に推進します

- サステナビリティレポートでの情報発信や環境関連の教育・研修を実施するなど環境コミュニケーションを通じてステークホルダーとの相互理解を深め、ステークホルダーの環境意識向上と環境・地域貢献活動等に向けた行動を支援します。
- 持続可能な社会実現に向けたプラットフォームの構築やコンソーシアム、イニシアティブに積極的に参加します。  
また、脱炭素やサステナビリティに関連したセミナー等を通じて、知見や経験を共有、情報発信を行います。

## 4. 環境や社会に配慮した企業経営を推進します

- ISO規格に基づいたESG経営の実施とシステムの継続的な改善、環境保全への取り組みなど、環境や社会への配慮、健全な管理体制の構築などによって、「環境」と「経済」が共存した持続可能な社会の実現と発展を目指します。
- 環境へ配慮した取り組みやマネジメントシステムの構築など環境経営分野における企業活動をサポートします。

リマテック＝レックスグループは、上記取組みの進捗状況を確認し、その結果について定期的に公表するとともに、環境省への報告をおこなってまいります。